

千葉県初開催！

脳血管障がい者の 心理社会面への作業療法

—心理社会的援助メソッド 入門編—

「このクライアントはどのように障がいを経験しているのか」に臨床で向き合うには！

「機能訓練にこだわっている」、「病前と比較して落ち込んでいる」、「受け身でセラピスト任せである」、「悲観的発言が多く意欲が乏しい」……。こうした多くの患者さんに作業療法士(OT)は出会います。そして一人ひとりの方への関わり方に悩むOTも多い実状です。

私たちは「脳血管障害者の心理社会面への作業療法」に関する研究をしています。そして臨床で活用するための方法論「脳血管障害者のための心理社会的援助メソッド」を開発しています。

さらに「障がい経験」をプラスに捉えて社会に役立てる作業療法「協働アプローチ」を提唱し、当事者と支援者が協働で活動する「NPO学びあい」を始動しました。

一人ひとりのOTが、臨床で目の前のクライアントに向き合い、クライアントの可能性のために行動するため、自分が成長する必要があります。今までの200名以上の受講生の声を元に、この方法論を前進させていきます。

講師 小林幸治

私は作業療法士ではなく、片麻痺障がい当事者かつ、講師です。ここでは、深く、そして本来的なりハビリテーションを伝えます。当事者である私もスタンドし、体験者の生の声で解説します。

協働講師 葉山靖明

●日 時：2019年5月18日(土) AM9:30~PM4:30
●会場：フレスポ稲毛 ほっとステーション内 地域交流スペース
〒2630001 千葉県 千葉市稲毛区長沼原町731-17

●講師：目白大学 保健医療学部
作業療法士学科
小林 幸治 准教授
作業療法士



(協働講師：葉山靖明) (運営支援：柴田美雅OT)

●教材費：3000円

●申込方法：psms2016kh@gmail.comへ①氏名、②所属、③職種、④携帯、⑤会場名(千葉会場)を。

●定員：40名 ※申し込み締め切りは5月10日です。

◆講義内容 (詳細はOTジャーナル誌2015, 2月号、3月号、4月号 同名連載を参照ください)

- 1 脳血管障がい者への心理社会的支援
- 2 脳血管障がい者の主観的回復
- 3 心理社会的援助メソッドの進め方
- 4 心理社会的援助メソッドの5つの臨床シートの使い方
- 5 テーマディスカッション

●企画：NPO法人 学びあい ●主催：小林幸治・葉山靖明

●講義内容、交通などのお問い合わせは 電話 **0940-72-8033** 葉山まで。